

猪苗代湖湖底ボーリング見学会報告

報告：塘 忠顕

10月14日、非常に良い天気の下、猪苗代湖で現在実施されている湖底ボーリングの様子を見学するツアー（？）が実施されました。参加者は難波研と塘研の大学院生・学生合わせて6名と難波先生、塘の8名でした。台船上での説明役は実践教育推進センターの廣瀬さんをお願いし、湖底堆積物採取のために来ていた長橋研の学生、柴崎研の大学院生も同行してくれました（乗船定員の関係から長橋先生は留守番でした）。

中田浜マリーナから船で湖上の台船まで移動しましたが、運悪くボーリング作業が一段落していたのと、前々日の大風のために故障した別の台船修理のために作業員は湖上の台船にはおらず、ボーリング作業風景は見られませんでした。それでも参加者は船からボーリング機材を載せた台船に移動し、作業のための機材を間近で観察することができました。

引き上げられたコアは続々と大学のプロジェクト室（研究実験棟 506 室）に搬入されており、長橋先生や廣瀬さん、お手伝いの長橋研や柴崎研の学生による地道な分析作業が日夜続けられています。



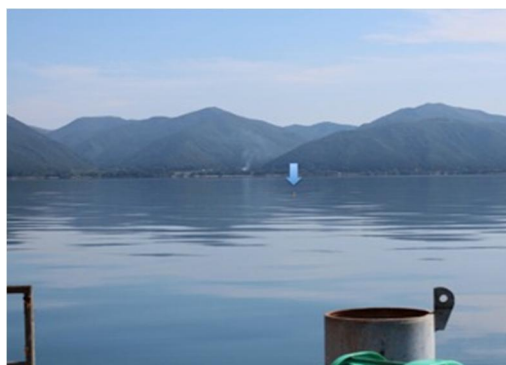
猪苗代湖上の台船



近くから見る台船



船上にて廣瀬さんより説明を聞く



アンカーの目印のブイ（矢印で記した場所）